

令和2(2020)年度事業報告書

全 般

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため神奈川県などに緊急事態宣言が発出される中、横須賀市の博物館等に倣って約5か月間閉艦、主催行事もほとんど中止し、開催する場合も内容を見直した。

開艦に当たっては「記念艦「三笠」における新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」を策定して各種対策を行い安心して観覧していただく環境を整備した。

しかし、前年比の来艦者数は開艦時には個人が約6割、団体が約1割程度であり、通年では3割程度となった。このため大きな減収となり新型コロナウイルス感染症(以下、「コロナ」という。)対策経費もあり、持続化給付金や雇用調整助成金等の公的助成を受けたものの、基本財産の取崩しも必要な財政上厳しい年度となった。

総観覧者数については70,943名(前年度比31.9%)、観覧料は33,179千円(前年度比31.9%)となった。

売店売上額については、通信販売は閉艦中も継続し20,730千円(前年度比37.5%)となった。

1 コロナ拡大防止対応

コロナ対策に関する神奈川県及び横須賀市の対処方針及び日本博物館協会の対応要領等を参考として対応した。

(1) 閉艦

次の期間、横須賀市内の博物館等に合わせて閉艦した。

3月4日～6月19日の108日間(2年度は80日間 緊急事態宣言は4月7日～5月25日)

1月12日～3月7日の55日間(緊急事態宣言は1月7日～3月21日)

(2) 艦内態勢

ア 再開に向け「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン」を策定し各種対策を実施した。

- ・検温のため舷門にサーモカメラ、非接触型体温計を設置
- ・ソーシャルディスタンス確保のため、舷門入り口階段、ビデオ室、休憩用座席の間隔確保の表示
- ・手指消毒のため、舷門、中甲板への階段下、展示室入り口、タッチパネル、VR、シミュレーター、音声ガイドにアルコールを設置。
- ・手指消毒のためVR、シミュレーターにウェットティッシュを設置
- ・空気感染防止のため舷門に飛散防止カーテンを設置
- ・換気のために講堂入り口を常時開放し大型扇風機を通路等に設置
- ・接触感染防止のため階段手すり、椅子、ドアノブ、トイレ等を職員及び委託業者により除菌清掃
- ・売店は消毒用アルコール、飛沫防止カーテンを設置しドア開放による換気

イ 艦内外に厚生労働省(接触確認アプリ「COCOA」への登録と利用促進の掲示)、神奈川県(LINE コロナお知らせシステム)及び三笠の感染予防の啓発パンフレ

ットを掲示した。

ウ HP 及び艦内に「記念艦三笠来艦時のお願い」を掲示した。

(3) 職員の勤務体制

ア 閉艦中は、必要最小限の人員(2名)による保安体制を維持した。

イ 入艦者数が通常より少ないため、業務に影響しない範囲で職員を休業とした。

(4) 中止された行事等

ア 主催行事

- ・ 日本海海戦 115 周年記念行事（三笠神社参拝、満艦飾は実施）
- ・ 船の模型コンクール
- ・ 三笠こどもミュージアム
- ・ 子供たちのプラモデル教室
- ・ 書初め大会
- ・ 新春凧あげ教室（共催：西武パートナーズ）
- ・ 三笠こどもラジオ教室

イ 共催行事（括弧内は主催者を示す）

- ・ よこすかカレーフェスティバル(横須賀市観光課)
- ・ よこすか YY のりものフェスタ(横須賀市観光課)
- ・ 横須賀夏期防衛講座（横須賀防衛協会）
- ・ 「キッズウィーク」（横須賀市教育委員会）
- ・ Yokosuka 海道ウォーク（Yokosuka 海道ウォーク実行委員会）
- ・ Classic Japan Rally2021 R134（株インプレッション）
- ・ 海洋シンポジウム（よこすか市民会議）
- ・ 海洋教育フォーラム（日本船舶海洋工学会）
- ・ よこすかスプリングフェスタ（横須賀市観光協会）

(5) 助成金等

以下の助成金について手続きを行った

名 称	実施主体等	金額(万円)
雇用調整助成金(新型コロナ特例)	厚生労働省	745.6
持続化給付金	経済産業省	200.0
新型コロナウイルス感染拡大防止協力金	神奈川県	20.0
文化芸術活動再開加速化事業補助金	神奈川県	15.0

2 艦の修理整備

(1) 官（海上自衛隊）による修理工事

ア 電気の部

- (ア) 高圧受電設備定期点検
- (イ) 右舷ボートデッキ下非常灯交換（台風被害復旧）
- (ウ) 12 番砲室、下甲板電灯交換
- (エ) 士官室及び下甲板の照明器具 LED に新替え
- (オ) 資料室空調補修
- (カ) 監視システム老朽更新（カメラ更新及び増設、記録装置追加等）

イ 船体の部

- (ア) 船体板厚測定
- (イ) 後部カッター新替え
- (ウ) 5番、6番、8番砲室外舷補修及び塗装
- (エ) 左舷後部のベンチレーター金網補修
- (オ) 後甲板天幕の補修（台風被害復旧）
- (カ) 前部艦橋海図室右舷ドア補修
- (キ) 後部マストの塗装（一部補修）
- (ク) 中部右舷木甲板補修

(2) 保存会による整備

- ア 定期消防用設備等点検（業者委託）
- イ 消防設備指摘事項改善工事（業者委託）
- ウ wifi アンテナ増設（士官室等）（業者委託）
- エ 事務機器老朽更新（電話機、サーバー）（業者委託）
- オ 各所塗装（職員、シルバー人材センター）
- カ 木甲板補修（職員）

(3) 海上自衛隊隊員等による奉仕整備

- ア 第2術科学校課程学生及び同職員等による艦内外の清掃及び真鍮磨き等の奉仕作業 計7回（延べ207名）
- イ 9月横須賀地区上級海曹会会員、隊員有志及び米海軍とその家族等約106名による上甲板全面洗浄及び艦周辺除草奉仕作業

3 展観態勢

(1) 資料の整備等

- ア 艦首飾り修復
- イ 1番、2番補助砲の整備
- ウ 顕彰室殉職者銘板の照明装置追加設置
- エ 主砲弾の説明板設置
- オ 主砲模型を船体構造付きに改修（阿部源市評議員に依頼）

(2) 収蔵資料の現況（2021. 3. 31 現在）

区分 種類	三笠保存会 (所蔵品)	海上自衛隊 (無償借受)	個人 (寄託)	2年度 受入 (所蔵品)	合計
勲章	56	0	12	0	68
武器	64	0	3	0	67
絵画	82	5	8	0	95
印刷	160	11	2	0	173
書	188	52	40	0	280
被服	86	0	9	0	95
写真	307	195	9	0	511
証紙	112	0	5	0	117
旗布	15	0	3	0	18

工 作	126	21	12	0	159
陶 器	19	0	4	0	23
彫 刻	23	0	1	0	24
模 型	23	9	37	1	70
計 器	19	0	3	0	22
録 音	28	0	0	0	28
図 書	79	0	2	0	81
展示物品	0	8	0	0	8
合 計	1,387	301	150	1	1,839

(3) 資料の貸出

令和2年2月に坂の上の雲ミュージアムに貸出した東郷元帥「硯箱・硯等一式、印章、手帳」、「金子堅太郎書掛軸」が3.20(土)に返納された。

(4) 展示のIT化

中央展示室内のデジタル展示用UPS（無停電電源装置）の老朽更新（3台）

(5) 「三笠秘蔵 連合艦隊 艦隊コレクション」

日露戦争時の艦船模型(購入予定数：84隻)のうち、3隻（2等巡洋艦橋立、同厳島、同松島）(累計:26隻)を購入した。

(6) その他

銃砲刀剣類の一斉検査を横須賀警察署にて受検

4 主催行事

(1) 日本海海戦115周年記念式典は中止したが、職員による三笠神社参拝及び満艦飾を行った。

(2) 11月三笠進水120周年 入り口看板及び舷門付近に120周年を紹介掲示

(3) 「お正月イベント」

「お正月は三笠でパワーを！」をスローガンにコロナ拡大防止対策の基、以下のイベントを開催した。一部のイベントは集客分散のため1月6日までの6日間に延長し、1,683名(昨年比54.1%、昨年実績は三が日)の観覧者が訪れた。

- ・ パワースポット（三笠神社、三笠最上艦橋）巡り
- ・ 「国旗のある自由画入選作品展」
- ・ スタンプラリー完走者による景品抽選会
- ・ 甘酒サービス
- ・ 掲揚軍艦旗等プレゼント申込み

5 協賛行事

(1) アズールレーン×横須賀コラボトークイベント

7.4(土) ゲームアプリ「アズールレーン」声優によるトークショー(インターネット配信)のため士官室の利用に協賛した。

7.7(火)から8.31(月)まで、同イベントのパネルを艦内に展示するとともに、記念品のオンライン販売に参加した。

- (2) 横須賀流灯会(灯籠流しの会)
7.15(水)横須賀流灯会は中止となったが、お供物を持参された方のお供物を処分するため流灯会の要請により産廃コンテナの設置に協賛した。
- (3) 横浜横須賀サイクルスタンプラリー「ひつじのショー」第2弾
9.16(水)から12.15(火)の間で行われたサイクルスタンプラリー「ひつじのショー」に協賛し、スタンプラリーのラリーポイントとして舷門入口にスタンプ台(QRコード)を設置した。ラリーの参加証を提示した方は観覧料を100円割引とした。
- (4) 横須賀フォトコンテスト
10.13(火)から3.1.19(火)までの間、横須賀市が主催する標記の写真展に協賛し景品を提供した。
- (5) 「国旗のある自由画入選作品展」
11.5(木)から3.1.6(水)までの間、国旗協会の作品展に協賛し、第2ビデオ室に入選作品21点を展示した。
- (6) 子育て応援広場「すかりぶ」
横須賀市が主催する子育て応援の取組に協賛し事業者登録を行った。
12.1(火)～12.27(日)の間、すかりぶゆる～くミュージアムスタンプラリーに協賛し、舷門入口にスタンプ台(QRコード)を設置した。
すかりぶ会員の会員証提示により観覧料を100円割引とした。
- (7) 県博物館協会防災訓練
12.4(金)神奈川県博物館協会が主催する防災訓練(遠隔情報伝達訓練)に参加した。
- (8) 横浜マリノスカラーのライトアップ
12.7(月)から20(日)の間、横浜マリノスがアジアチャンピオンズリーグで決勝リーグに進出したため、これを応援するホームタウン横須賀市からの依頼に協力し、マリノスカラーのライトアップを行った。初日には関連イベントとして点灯式やマリノスケの艦内見学等のネット動画配信に協力した。
- (9) 「海軍さんの港まちスタンプラリー」
H30(2018)9.23(日)～R3.2.12(金)の間、閉艦中を除き「日本遺産「鎮守府」をめぐるスタンプラリー」に協賛し、スタンプラリーポイントとして舷門入口にスタンプ台を設置した。
- (10) 「三笠艦記念第12回スポーツひのまるキッズ関東小学生柔道大会」
3.28(日)にコロナ禍で2度延期され、6年生に限定して関係スタッフのみで開催(横浜武道館)された同行事に協賛し、参加賞等を提供した。

6 広 報

- (1) 広報資料の配布
6月:前年度団体来艦者が多かった1都2府22県の旅行業者(10,602社)にパンフレットを送付した。
- (2) 委託ガイドによる定時艦内ガイドツアー
ア コロナ対策関連

ガイドを委託している三笠ガイド協会と協議し、次のとおり実施した。

- ・ 閉艦期間と6月一杯及び3月一杯は定時ガイドの中止
- ・ 実施時のフェイスシールドの配布
- ・ 定時ガイドは換気の良い上甲板を原則
- ・ 1グループ当たりの人数制限（密を防止するため原則10名程度、希望者が多い場合はグループ数を増やして対応）
- ・ 案内時間の短縮（約30分）

イ 定時ガイドの追加

観覧者への説明充実の観点からガイド機会を増やすため、8月よりガイドの実施回数を1日5回から夏期間は1日7回（10時10分と16時を追加）、冬期は6回（10時10分を追加）とした。

ガイドツアーの実績は、延べ59日、7,354名であった。

(3) 看板等の設置

ア 京急横須賀中央駅にて三笠観覧案内(ナビタ)を掲出中である。

イ 「お正月イベント」のポスターを横須賀市内の京急及びJRの駅に掲示した。

(4) SNS広報

フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、トリップアドバイザーなどでの情報発信を行っている。

国内外多数の旅行者が参照する世界最大の口コミサイトであるトリップアドバイザーは、トラベラーズチョイス ベスト・オブ・ザ・ベスト「日本人に人気の博物館ランキング2020」トップ20の第16位に記念艦三笠が選ばれたことを発表した。引き続き高評価を得ている。

(5) メールマガジンの配信

三笠に対する関心を維持向上するため、役員及び会員等の希望者(約300名)に対し行事の予定、実施の状況等をお知らせするメールマガジンを四半期毎、計4回配信した。

(6) 会報「みかさ」の発行

「みかさ」第33号を作成し、会員及び関係先に配布した。

(7) 新聞、広報誌等への広告

5.16(土) 情報サイト「レッツエンジョイ東京」(株)Bridge (三笠紹介)

7.16(木) 朝雲新聞 無料 暑中見舞

7.14(金) タウンニュース社 暑中見舞

10.1(木) 防衛協会会報 第152号 記念艦「三笠」広告

1.1(金) 防衛協会会報 第153号 記念艦「三笠」広告(三笠紹介)

1.1(金) タウンニュース横須賀版 (理事長新年名刺挨拶、お正月イベント)

1.1(金) 産経新聞 (理事長新年名刺挨拶)

1.1(金) 神奈川新聞 (理事長新年名刺挨拶)

1.1(金) 朝雲新聞 (理事長新年名刺挨拶)

1.1(金) JCOM (ビデオ年賀状)

(8) 雑誌による広報

ア 「歴史街道」に三笠の特集記事を掲載(H30年8月掲載開始(隔月掲載)、2

年間計12回)、今年度は1回実施し、当面の掲載を終了した。

イ 「MAMOR」に三笠の広告を掲載 (R1年11月掲載開始)、今年度は4回実施し、当面の掲載を終了した。

(9) 報道機関等への協力

ア テレビ局・新聞等への協力

- 5.5(火) 神奈川新聞 社会面 緊急事態宣言延長に伴う対応
- 5.27(水) 産経新聞社、神奈川新聞社 日本海海戦115周年記念の日
- 5.28(木) 神奈川新聞 地域面 日本海海戦記念の日行事(満艦飾写真)
- 6.21(土) 読売新聞 地域面 記念艦三笠観覧再開
- 6.25(木) 毎日新聞 神奈川版 記念艦三笠観覧再開
- 6.20(土) 読売新聞社 観覧再開記事
- 7.12(日) TBS テレビ 「非戦の軍人・堀悌吉」作成取材
- 7.17(金) 産経新聞 神奈川版 記念艦三笠日本海海戦115周年及び再開
- 7.22(水) 朝日新聞 夕刊3面「坂の上の雲」紹介文「記念艦三笠」写真掲載
- 8.13(木) 読売新聞(朝刊)「戦後75年終わらぬ夏」7月取材分
- 8.15(土) (株)コンテンツシード(市役所後援)「劇場版ハイスクールフリート」関連取材
- 9.12(土) 読売新聞(朝刊)「Go To トラベル 事務局長コメント」
- 9.28(月) 神奈川新聞(カナロコ)「三笠」全国博物館ベスト20選出及び理事長コメント
- 9.28(月) FM横浜 「三笠」全国博物館ベスト20選出
- 10.2(金) Youtube「だいすけの時間(三笠訪問)」9月撮影分
- 10.20(火) 毎日放送「教えてもらおう前と後」オープニング映像
- 11.20(金) クラブツーリズム観光ビデオ撮影協力 3名
- 11.26(木)~11.27(金) 文京学院大学制作映画撮影協力 延べ30名
- 12.7(月) 横浜マリノスカラー ライトアップ支援
- 12.18(金) 三笠お正月イベント開催 横須賀記者クラブ情報提供
- 12.18(金) タウンニュース横須賀版 三笠トリコロールカラーライトアップ
- 1.1(金) TBS「森田さんと見る新しいニッポンの初日の出」
- 1.3(日) 神奈川新聞 (お正月イベント)
- 1.10(日) TBS「じょんのび日本遺産」
- 1.19(火) テレビ東京 関さんぽ
- 1.20(水) twitter ライブ配信 三笠トリコロールライトアップ
- 1.21(木) 横須賀市観光課プロモーションビデオ撮影 3名
- 1.24(日) 海上自衛隊幹部学校 Web 教育資料撮影 6名
- 2.4(木) 地域紹介事業コンテンツ撮影協力 6名
- 3.27(土) NHK Eテレ「歩くひと 特別編」 三笠外観
- 3.28(日) 日本テレビ「疾走!エイトマイル」 三笠艦内展示物等紹介

イ 雑誌等への協力

- 6.25(木) 世界の艦船 8月号 日本海海戦115周年
- 7.2(木) 理論社 小学生社会科教材題材提供「東郷元帥」
- 7.3(金) 読売新聞社東京本社 戦争関連企画の取材

- 7.4(土) ギガファイル(市役所後援) アズールレーン関連取材
- 7.8(水) キリスト教広報誌 生命之光7月号 「戦艦三笠からのメッセージとは？」友だち二人旅
- 8.19(水) 月刊「丸」9月号 三笠保存会 日本海海戦115周年記念日行事画像
- 8.25(金) 世界の艦船10月特大号 海自実習幹部「三笠」見学
- 11.10(火) 富士フィルム広報誌12月号(横須賀さんぽ)9月撮影分
- 11.16(月) JAF 広報誌 JAF メイト12月号 横須賀市特集

(10) 実習等への協力

ア 8.20(木) 三浦学苑高校生取材協力

高校生を対象とした「地域観光プラン」を競う全国大会(観光甲子園)の日本遺産部門に応募するための取材に協力した。作品は優秀賞を受賞した。

イ 横須賀海洋少年団の活動、訓練に7回協力した。

(11) 観光会社等のガイド研修への協力

バス会社のガイド、日本観光通訳協会ガイド、三笠ガイド協会等の研修に協力した。

(12) 横須賀市観覧依頼

横須賀市役所各課からの観覧依頼に応じて、無料観覧を許可するとともに希望により案内を実施した。(4回22名)

7 観覧者数等

(1) 観覧者数

無料観覧者を含めた観覧者数は70,943人(前年度比31.9%)であった。

月別	令和2年度	前年度比 (%)	令和元年度
	有料観覧人員		有料観覧人員
4	161	0.7%	21,558
5	0	0.0%	32,956
6	2,582	13.2%	19,630
7	7,507	53.8%	13,963
8	11,078	51.5%	21,492
9	9,471	50.8%	18,633
10	8,434	49.8%	16,938
11	10,406	48.2%	21,598
12	4,758	48.9%	9,737
1	2,229	18.2%	12,220
2	0	0.0%	11,351
3	5,111	664.6%	769
有料計	61,737	30.7%	200,845
無料計	9,206	43.0%	21,409
総計	70,943	31.9%	222,254

(2) 団体観覧者

ア 団体観覧者数 4,545 名(前年度比:10.0%)

イ 団体観覧者数上位都府県 ※ ○内数字は前年度の順位

順位	都府県	延人員(前年度比)
1	東京①	2,784(16.8%)
2	神奈川②	1,069(23.7%)
3	千葉④	229(8.3%)
4	埼玉③	113(3.8%)
5	静岡⑤	59(2.2%)

(3) 観覧料収入

観覧料収入は 33,179 千円(前年度比 31.9%)となった。

(4) 主要来艦者

8月	元横須賀地方総監 古澤忠彦様
11月	中部大学経営情報部教授 東大総長室アドバイザー 酒井吉廣氏 一般社団法人日本公園緑地協会会長 有路信氏
12月	中山防衛副大臣、海幕副長、横総監 横須賀地方総監 杉本海将(離任挨拶)
3月	町田 一仁防衛省大臣官房審議官 他2名

(5) 防衛省職員の研修

自衛隊の7部隊等の隊員・職員(延べ1,169名)が研修のため来艦した。

8 会 員

(1) 会員数

会員の種類		新入会員数		年度末会員数	
		2年度	元年度	2年度	元年度
個人 会員	通常会員	53	92	720	806
	終身会員	70	56	2,364	2,361
	維持会員	12	10	190	185
	小計	135	158	3,274	3,352
法 人 会 員	通常会員	1	0	50	55
	終身会員	0	0	24	24
	維持会員	0	1	17	17
	小計	1	1	91	96
合計		136	159	3,365	3,448

(2) 月別会費収入(単位:千円)

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	249	459	385	412	251	402	198	246	238	204	282	494	3,820
元年度	612	460	382	1,152	214	112	231	214	244	216	246	290	4,373

(3) 会員対策

ア 海自第2術科学校において上級管理講習者に対し、三笠保存会入会勧誘を2

回実施した。

イ 海自各地方総監部管理部長及び基地業務隊司令へ入会案内の書類を送付し退職隊員への入会勧誘を依頼した。呉基地業務隊司令からは、200 部の追加の希望があり対応した。

ウ 会員優待券は、コロナ禍の影響で閉艦があったこと、会員優待券の利用が少なかったことから、昨年度配布した有効期間を1年間延長した。

9 運 営

(1) 会 議

- 5. 29(金)第 33 回運営委員会 (文書審査)
- 6. 4(木)第 18 回理事会 (決議の省略)
- 6. 19(金)第 18 回評議員会 (決議の省略)
- 6. 19(金)臨時理事会 (決議の省略)
- 9. 17(木)第 34 回運営委員会
- 11. 19(木)第 35 回運営委員会 (文書審査)
- 1. 21(木)第 36 回運営委員会 (文書審査)
- 3. 11(木)第 19 回理事会 (決議の省略)
- 3. 22(月)第 19 回評議員会(決議の省略)

(2) 理事等の交代

6. 19(金)付で次の評議員・理事等が就(退)任しました。

	就 任	退 任
評議員		池田 晃
同		金森 正
同	馬場 亮	中村 英明
理 事		明野 充功
同	秋本 丈仁	井上 吉隆
同	齋藤 順也	大黒 健司
顧 問	河野 克俊	夏川 和也

(3) 職員人事

ア 職員の異動については次のとおりである。

配 置	採 用 (年月)	退 職 (年月)
売店店長	長岡 護(2.4)	長尾 晴幸(2.6)

イ 2年度末における職員数は次のとおりである。

正職員	再雇用職員	パート	計
6 (1)	6	4(4)	16(5)

注：() は女子職員を示し、内数である。

(4) 友好団体等行事への参加

関係官公庁や多くの友好団体の行事が中止または規模縮小による参加者限定とされ参加の機会は得られなかった。

(5) 職員の教育・研修

ア 休艦期間を利用して三笠保存会職員の研修会を実施した。

- ・ 4. 22(水)保存会業務の理解促進のために、全職員による業務の紹介、情報の交換
- ・ 5. 20(水)職員の知識向上のために三笠保存会の復元後の歴史の紹介(局長)

イ 11. 10(火)危険物保安セミナー(横須賀市危険物保安協会)総務部長受講

ウ 12. 15(水)地震発生時及び火災発生時の初動対処、観覧者避難誘導方法を演練した。

エ 展示・接客要領等の向上を図るための他博物館への研修は、コロナ拡大防止のため取り止めた。

10 売店部

(1) 閉艦に伴い同期間は閉店とした。ただし、通販販売は継続し、巣ごもり需要増に対応した。

(2) 営業収入

2年度商品総売上高は20,730千円であり、前年度比37.5%となった。

(3) 通信販売

三笠ホームページ・ショッピングサイトによる通信販売実績は、取扱件数269件(前年度比145.4%)、販売金額1,201千円(前年度比196.2%、売上金額の5.8%)であった。

(4) 新商品

ア よこすか海軍カレー 「三笠カレー」

イ 2021年世界三大記念艦「三笠」カレンダー

ウ 三笠所蔵絵画クリアファイル4種

(5) キャッシュレス化

ア キャッシュレス化の進展により、販売金額は減少したにもかかわらず取扱件数は増加した。

イ 実績

種別	取扱件数(件)	販売金額(円)	対売上高	備考
クレジットカード	829 (前年度比43.0%)	2,056,633 (前年度比37.3%)	9.9%	NICOS、JCB等
交通系ICカード	1,136 (前年度比281.2%)	860,773 (前年度比242.3%)	4.2%	スイカ、パスモ等
QR決済	743 (前年度比408.2%)	818,747 (前年度比431.0%)	3.9%	ペイペイ、アリペイ等
合計	2,708 (前年度比107.7%)	3,736,153 (前年度比61.6%)	18.0%	

(6) 棚卸し

4半期毎の棚卸しを実施し、適切に処理されていることを確認した。

(7) 券売機を更新した。

- (8) GoTo キャンペーン
取扱件数 832 件、販売金額 1,460 千円
(内訳 観覧 194 件 244 千円、売店 638 件 1,216 千円)
 - 10.1(木) GoTo 地域クーポン取り扱い開始
 - 12.28(月) GoTo トラベルキャンペーン中断に伴い取扱い中断
- (9) 神保町書泉グランテ、秋葉原書泉ブックタワーでのセール
 - 10.16(金)～11.15(日)「三笠」進水 120 周年として、神保町書泉グランテ、秋葉原書泉ブックタワー並びに売店にて記念セールを開催した。

11 その他

- (1) 横須賀市等の要請を受け各種観光施策に協力した。
 - ア 2.8(月)来艦者の属性や回遊パターンを集計、分析し観光周遊促進に資するため AI ビーコンを設置した。(舷門)
 - イ 3.21(日)サテライト情報版(ガイドア:8 言語対応の QR コード付看板)を設置した。(記念艦三笠入口脇)
 - ウ 3.24(水)充レン(携帯電話の充電器貸出サービス)を設置した。(第 1 ビデオ室)
- (2) 2.17(水)横須賀市により三笠公園へ「東郷元帥ゆかりのイチョウ」が植樹された。